

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【3】民間技術の積極的な活用 施策12】

防水型アスファルトの採用によりコスト改善

工事名：一般国道2号玉手地区外沿道環境改善工事

概要：（従来）床版防水工+密粒度アスファルト基層工 ⇒ （今回）碎石マスチックアスファルト基層工

効果：

○ 床版防水工の施工範囲が縮小され、日当たり施工量が増えることにより、交通規制日数が短縮される。

■ 工事費を、202百万円から189百万円に改善

（改善額 13百万円 改善率 約 6%）

碎石マスチックアスファルト・・・締固め性能が高い改質アスファルトや補強繊維材等を用いることにより、通常のアスファルトより水密性を高めた防水型アスファルト。

